

EDGE-NEXT人材育成のための 共創エコシステムの形成

終了評価 ヒアリング審査

■ 主幹機関 学校法人早稲田大学

■ 協働機関

国立大学法人滋賀医科大学

学校法人東京理科大学

国立大学法人山形大学

学校法人多摩美術大学

令和4年9月1日(木)

目次

【1】計画の内容等

- EDGE-NEXTの事業目標と目指すアントレプレナー像
- 実施プログラムの全体像
- Skyward EDGEコンソーシアムの実施体制
- 国内外との連携によるダイナミックなプログラム展開
- 特筆すべき成果（中間評価結果）

【2】目標達成度

- 5年間の事業目標に対する達成状況（定量面）
- 5年間の事業目標に対する達成状況（定性面）

【3】取組状況

- コンソーシアム構築
- プログラム整備
- ベンチャー・エコシステム形成
- 人材育成

【4】計画・改善手法の妥当性

- 資金計画（補助金の使途、外部資金導入）
- PDCA

【5】今後の見通し

- 事業終了後の継続に向けた取組
- 本コンソーシアムの取組による波及効果

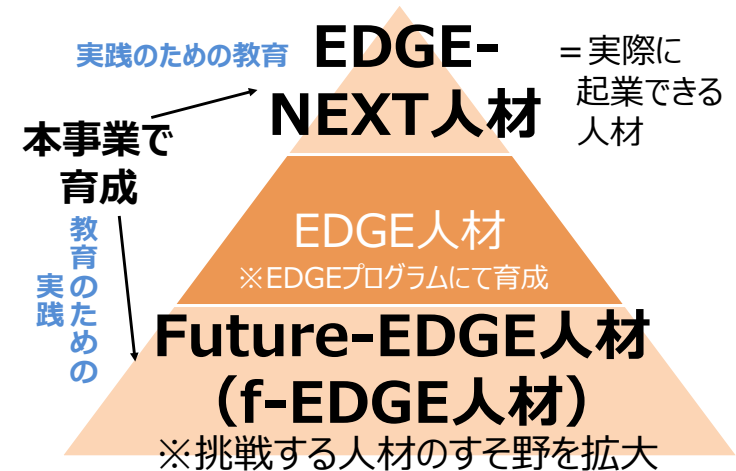
【1】 計画の内容等

EDGE-NEXTの事業目標と目指すアントレプレナー像

- 先進的な教育手法を結集した起業教育プログラム**体系**を確立する
- 「実践的」を超えた、「**実践**」による起業教育を実現する
- 「失敗を恐れず、チャレンジする**起業文化**」の醸成に貢献する
- 各地域でのベンチャー・エコシステムの**ハブ形成**に貢献する
- 学内での位置づけを確立し、複数財源の下で**持続的**な教育体制を構築する
- これらにより、世界トップレベルのアントレプレナー**育成拠点**となる

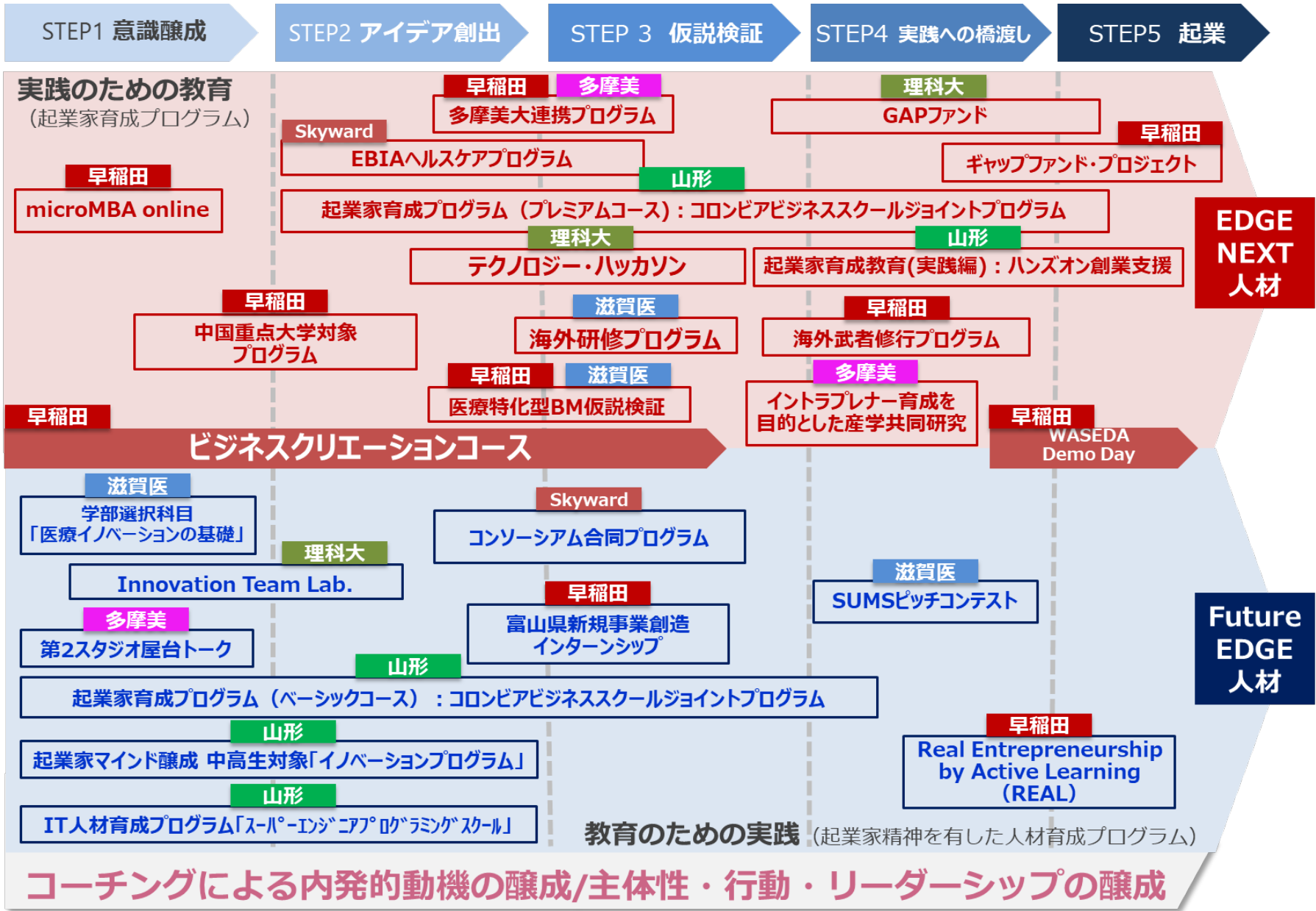
● **f-EDGE 人材**（「教育のための実践」トラックで育成）：
将来の産業構造の変革を起こす意欲を備えた、**起業あるいは社内新規事業創出を担うであろう候補生**。主に学部学生を受講生と想定し、EDGEの成果として設置したコースや、地域の課題解決、インターンによる起業から解散までの企業のライフサイクル体験などを題材としたPBLで、**正規科目を中心に**教育する。

● **EDGE-NEXT 人材**（「実践のための教育」トラックで育成）：
EDGEでの学習内容、強固な技術シーズ等を軸に、より実践的な製品デザインの技法、グローバルビジネスピッチ等でVC等への発信力などを備えた、**価値起点で実際に起業あるいは社内新規事業創出を実現できる人材であり、ソーシャルイノベーションを起こしうる人材**。EDGE人材、大学院生・若手研究者を受講生と想定し、各機関の得意分野におけるビジネス創造の知見を持ち寄り、**異分野融合、文理融合**により育成する。

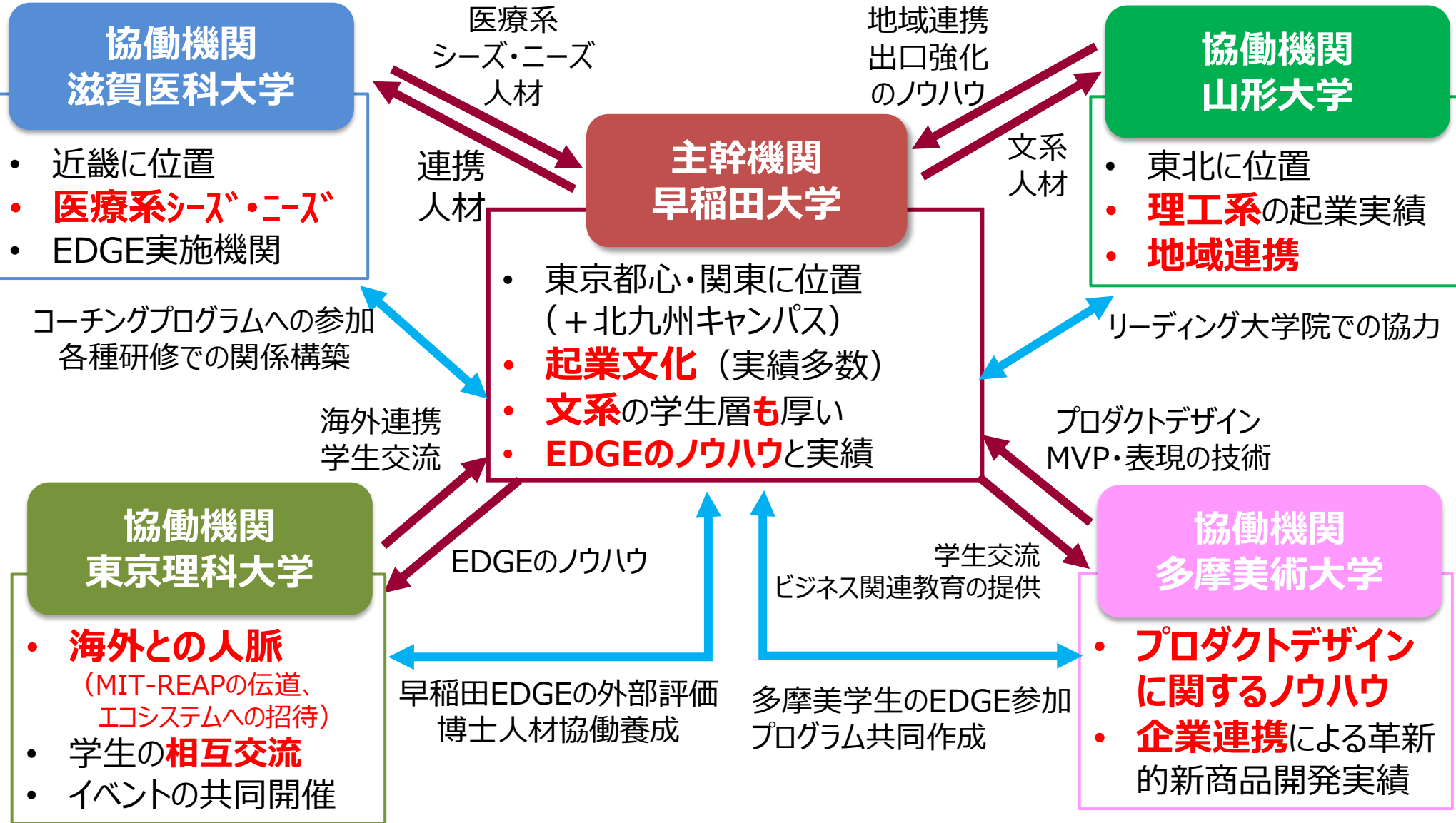


人材・地域・専門などの多次元的新結合による先鋭的で総合力の高いプログラムを展開

実施プログラムの全体像



Skyward EDGEコンソーシアムの実施体制

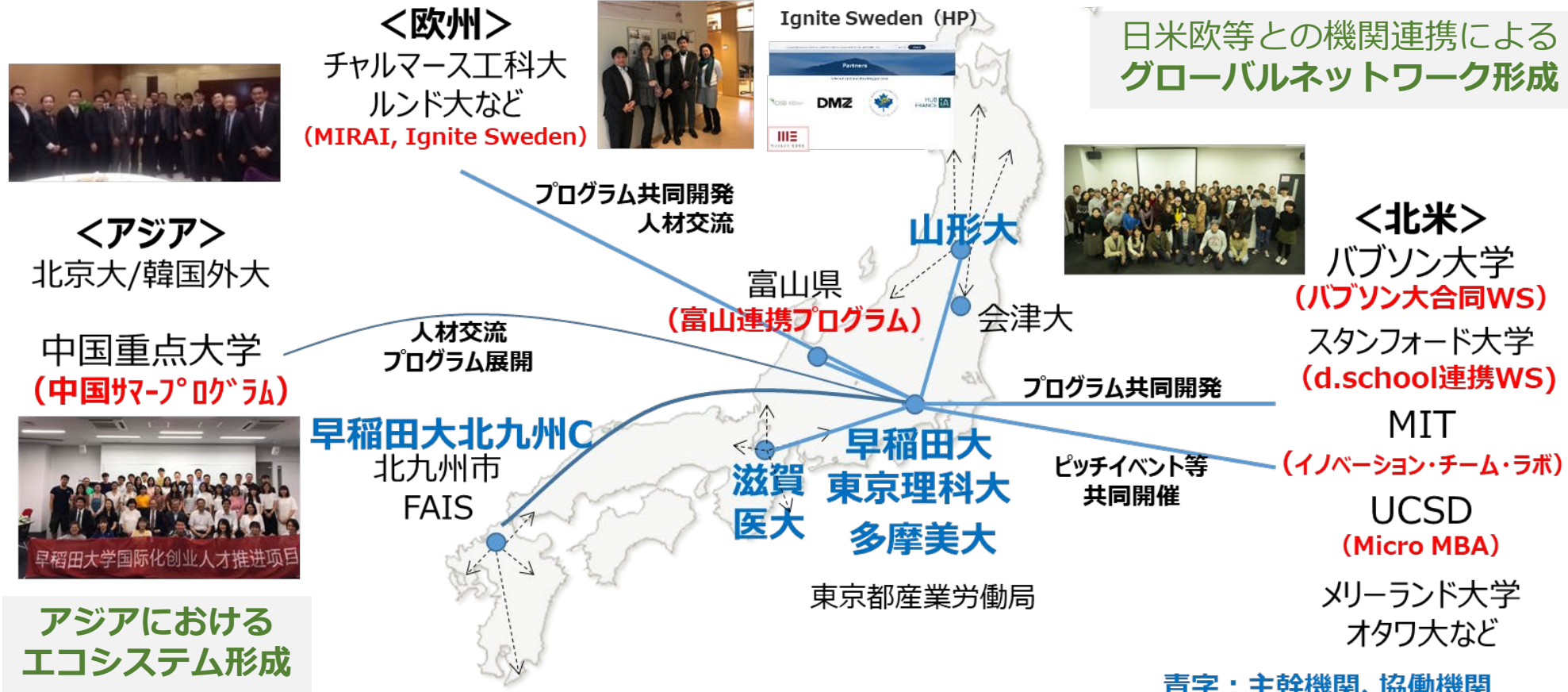


既往の連携実績
 EDGE-NEXTの協力

その他、国内外29の機関（企業、自治体、大学）が協力機関として参画

国内外との連携によるダイナミックなプログラム展開

理工系・文系・医療系・芸術系など**多様な専門分野を持つ大学の連携**
 自治体の参画による現場の確保⇒**地域拠点による地方創成**
 海外連携による先進的な知見の輸入と開発プログラムの展開⇒**国際競争力の強化**



アジアにおける
エコシステム形成

価値共創プラットフォームを介した展開

青字：主幹機関、協働機関
 黒字：協力機関
 赤字：2021年度連携プログラム

特筆すべき成果（中間評価結果より）

■ 中間評価結果 “最高評価のS評価を獲得”

総合評価	進捗状況 (中間評価)	取組状況	計画・改善 手法の妥当性	今後の見通し
S	S	S	S	a

■ 評価コメント（一部抜粋）

- 当初計画に対して受講者数、起業・新規事業数、外部資金導入率等が、**2年目にもかかわらず目標を大きく超えており、高く評価できる。**（総括コメント）
- 主幹機関・協働機関全機関で、「**起業家育成に関する大学間コンソーシアム連携協力に関する基本協定書**」が締結されており、**事業の継続性・発展性が期待される。**（総括コメント）
- 各機関の特長を活かしたプログラム開発に向けてコンソーシアム内で検討し、**コンソーシアム合同プログラムが実施されている。**（進捗状況）
- 年度末にはコンソーシアム外の有識者による外部評価委員会からの意見・指摘を受けてプログラムの改善に取り組んでいる。**外部評価委員会の設置が有効に働き、自立運営に向けた準備が整いつつある。**（計画・改善手法の妥当性）

■ 中間評価を受けてより注力した取組内容

- 協働機関含む全5機関が民間資金などの継続的な外部資金を獲得
- 国内外の他機関（海外機関・高校・メディア等）との連携拡大

⇒取組の詳細は【5】今後の見通しのスライドでご説明

【2】 目標達成度

5年間の事業目標（定量面）

- ・ 受講生数・学部生比率は、**目標を大きく上回る実績となった。**
⇒総受講生数 **20,767**名（目標比約**4倍**）、学部生平均比率 **81%**（目標比約**1.6倍**）
- ・ 起業、新規事業数は**38件**で目標達成（※起業準備中を含めると**48件**）

■ 5年度目までの定量目標

目標(延べ数)	単位	5年間計	早稲田大学	滋賀医大学	東京理科大学	山形大学	多摩美術大学
受講生数	人	5,320	3,200	170	1,520	310	120
うち学部生数	人	2,506	1,280	53	991	62	120
学部生比率	%	47.1%	40.0%	31.2%	65.2%	20.0%	100.0%
起業、新規事業数	件	25	10	1	3	10	1
外部資金導入数	千円	232,430	209,000	4,000	10,800	8,000	630

■ 事業目標に対する達成状況

令和3年度までの延べ数	単位	5年間計	早稲田大学	滋賀医大学	東京理科大学	山形大学	多摩美術大学
受講生数	人	20,767	14,185	405	4,505	1,282	390
うち学部生数	人	16,858	11,309	241	4,399	524	385
学部生比率	%	81%	80%	60%	98%	41%	99%
起業、新規事業数	件	38	18	4	6	10	0
外部資金導入数	千円	342,081	254,043	40,564	5,644	39,850	1,980

5年間の事業目標（定性面）

目標1 世界を惹きつけるアントレプレナー育成拠点となる

アジア圏への展開や欧米との連携により世界各地との関係構築を促進

- アジア圏への展開：中国・韓国を中心に連携しプログラムや講義を一部提供
- 欧米等との連携：海外大学等との連携により、先進事例の知見を獲得し本事業に反映



目標2 各地域でのグローバル・ベンチャー・エコシステムハブとなる

5大学のネットワークを活かし、各地域でのベンチャーエコシステム構築に寄与

- 各地域への展開：自治体や地域コンソーシアムと連携し、プログラムやイベント等を実施
- インストラクター養成：学生向けプログラムにFD(教員育成)枠を設けて実施



目標3 我が国における「失敗を恐れず、前進する起業文化」の醸成に貢献する

本コンソーシアムの成果発信により受講者の裾野拡大、起業文化の醸成に貢献

- 成果報告・ピッチ等イベント実施（コロナ禍ではオンラインイベントを増やして実施）
- 起業文化の醸成：プログラムで起業の成功/失敗体験を与え、失敗を恐れないマインド醸成



目標4 財源を確保し、学内での位置づけを確立した持続的な体制を構築する

継続的な外部資金導入による財源確保、正規科目の設置等で学内での位置づけ確立

- 外部資金導入による財源確保：継続的な民間企業からの寄付受入(寄附講座、共同研究実施ほか)
- 学内での位置づけ確立：正規科目設置、起業家教育・起業支援のセンター設置等



【3】取組状況

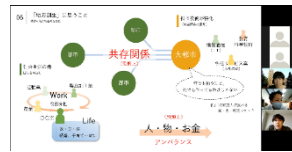
【コンソーシアム構築】5大学連携による取組

コンソーシアム合同プログラム ～5大学の学生が力を合わせて地域イノベーションを起こす！～

- **5大学の学生混合で多様性の高いチーム編成**（文系/理工/医療/デザインなど幅広い分野）
- 各チームに連携地域の自治体職員も入り、学生と共にアイデア創出に参加
- FDの一環として教員チームを1チーム配置（アイデア創出→最終発表まで行う）

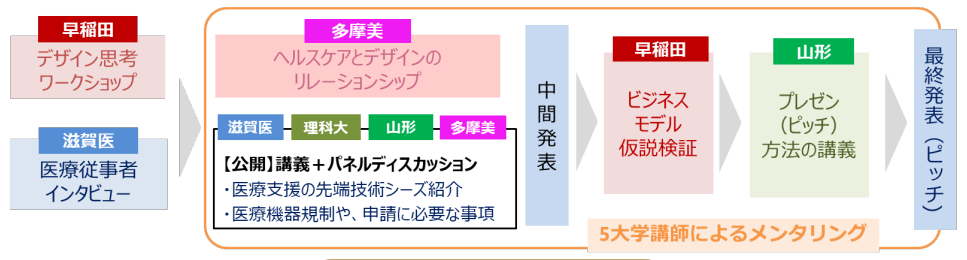


実施方法	対象地域	ワークショップテーマ	地域紹介の方法
令和元年度 現地	山形県 飯豊町	移住者の立場・気持ちになって、地域イノベーションを考えよう	飯豊町見学ツアー
令和2年度 オンライン	埼玉県 本庄市	With/after コロナ時代における大都市近郊地域のイノベーション	本庄市役所職員より説明
令和3年度 オンライン	長野県 茅野/諏訪市	With/after コロナ時代における地域イノベーション	地域紹介の動画



5大学共同EBIAヘルスケアプログラム

- **コンソーシアム共同でプログラム設計・企画から運営までを実施**
- **企業(社会人受講生)を対象とした有料プログラムに設計**（参加学生19名と混合チーム）
→複数企業にニーズ調査を行い、令和3年度は6名の社会人受講生が参加



補助事業期間終了後に向けた「自立的資金によるプログラム運営」へ

受講者アンケート結果のご紹介

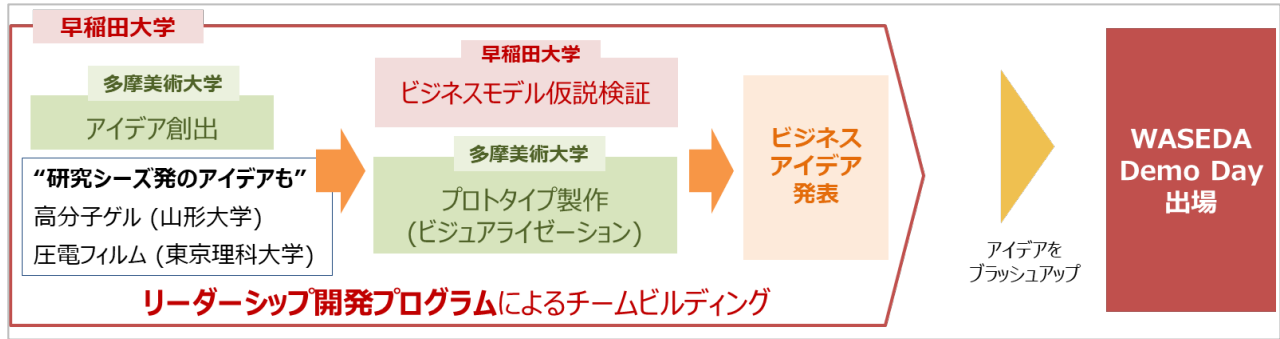
- 異分野の方とチームを組むことで、普段であれば得られない知見や、苦手な作業の思わぬ進捗があり、とても楽しめた。
- アーリーアダプターから満足させる、MVPでデモを素早く回す、など新製品開発時に役立つ情報を多数いただいた。
- 医療とアートはこれまで考えたことがなかったが、講師や学生のアイデアなどを聞いてみると、非常にユニークで観点が異なっており興味深かった。

【コンソーシアム構築】大学間連携による取組

多摩美術大学×早稲田大学連携プログラム～ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう！～

デザイン面のノウハウ・カリキュラムを適用した効果的な事業創出技法の提供
学生は大学混合のチームを組んでアイデア創出に取り組む

早稲田	多摩美
理科大	山形大



滋賀医科大学×早稲田大学 医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム

早稲田	滋賀医
-----	-----

“医療機器等のアイデア発想からビジネスモデル仮説検証”に取り組む。

- ・ 看護師から現場目線のフィードバックを得られる機会を提供
- ・ 医療機器等のビジネスモデル設計/検証にあたり、下記2点のコンテンツを強化
①薬機法上の承認プロセス ②技術実現性の検証演習



【プログラム整備】民間企業・自治体等連携プログラム①

テクノロジー・ハッカソン 複数の企業から協賛を受け実施

東京理科大学

本プログラムでは、**学生がチームを組んで、テクノロジーをベースに課題解決策を創出**
大学の学びを活かしたイノベーション人材の育成、企業とのネットワーク構築等を目的として開催

<実施テーマ>

- 令和元年度 **IoTハッカソン** ～住宅やオフィスを快適・便利にするIoT機器～
- 令和2年度 **アフターコロナハッカソン** ～アフターコロナにおけるヘルスケアプロダクト～
- 令和3年度 **宇宙×ビジネス ハッカソン** ～宇宙探査技術で地上を救うビジネスアイデア～



向井千秋特任副学長による講演の様子

宇宙×ビジネス ハッカソン
テーマ：宇宙探査技術で地上を救うビジネスアイデア！
社会に対して新たな価値を生み出し、より良い未来を創る方法を考えませんか？
イベントでは様々な分野の学生がチームを組んで協力し、遠隔探査ロボットを通して「課題解決」が得意な発想の力を発揮し、本格的な実証実験も体験して学びながら、その成果や発見を通して「地上」の課題を解決する新たなビジネスモデルを創ります！
宇宙に夢を持った皆さまの参加をお待ちしています！
開催日 10月23日(土) 10:00-18:00 11月6日(土) 10:00-18:00
10月30日または31日に遠隔探査サロニール(チームごとに日程調整)
主 催 東京理科大学、一般社団法人 東京起業推進センター
共 催 東京都立大学、東京理科大学の学生起業センター
(各)宇宙の学びを推進に賛同して実施しています
講師陣 向井千秋 特任副学長(宇宙飛行士) 木村真一 教授
理工学部電気電子情報工学科 片山洋 准教授
理工学部電気電子情報工学科
対 象 大学生、大学院生(理科大生以外も大歓迎！)
賞 金 最優秀チーム：Amazonギフト券20万円分
優秀チーム：Amazonギフト券10万円分

令和3年度の協賛企業 (5社)

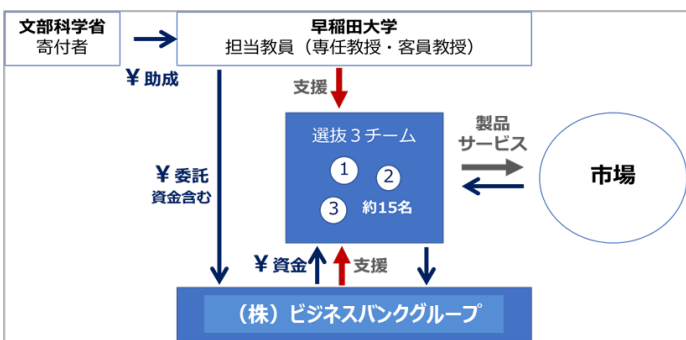
株式会社日建設計, パナソニック株式会社エレクトリックワークス社,
メタウォーター株式会社, 株式会社AndGo, 株式会社GRIPS

実践・起業インターンREAL (Real Entrepreneurship by Active Learning)

早稲田大学

インターンのスキームで、「**起業**」という**職業訓練の機会**を提供 (学生のビジネスアイデアを起用)
ビジネスバンクグループ社内新事業として社内のリソースを活用した支援を受ける

【事業化の事例】



実施年度	実績概要
第1期	全3チームが黒字化を達成→ 最高額は120万円の売上 に
第2期	コロナの影響を受けながらも、 全3チーム黒字化を達成
第3期	フルオンライン実施の影響もあり、 1チーム利益獲得・事業継続中
第4期	5チームに増やして実施⇒ 事業内容も多岐に渡るアイデアを選出

Pick Sense
住宅は、直観的な「好き」で選ぶ時代
ギャップファンドプロジェクトで事業を継続し、
ビジネスコンテスト出場等を経て事業化に至る

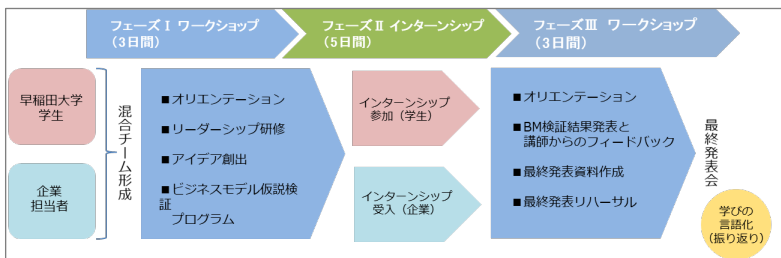
【プログラム整備】民間企業・自治体等連携プログラム②

富山県新規事業創造インターンシッププログラム 富山県からの外部資金にて実施

早稲田大学

学生と参加企業がチームを組み、**富山県における地域イノベーション・企業内新規事業創造に向けたアイデアを創出**
ワークショップによる理論と、企業・自治体でのインターンシップによる実践を組み合わせ実施

【プログラム実施フロー】



【参加企業】

2020年度	2021年度
株式会社能作	株式会社広貴堂
北陸コカ・コーラボトリング株式会社	株式会社今井機業場
前田薬品工業株式会社	クリエイションライン株式会社
富山県庁	株式会社野上緑化
	富山県庁



山形大学 Venture Cafe advised by Venture Cafe Tokyo

山形大学

バブソン大学・准教授・ベンチャーカフェ東京 代表理事の山川恭弘氏を迎え、**学生や山形県内企業などイノベーター同士を結びつける活動イベント**を開催

参加者：学生、山形県内企業、起業家・ベンチャー企業、投資家ほか



2018/7/6@山形テレサ
山形大学Venture Café
advised by VCT
(参加者：111名)



2018/12/20@虎ノ門ヒルズcafe
Venture Café Tokyo (山形大学 Session)

【プログラム整備】ビジネスコンテストの開催・実績

WASEDA Demo Day (年1回・2月開催)

起業・新規事業を検討する学生に向け、コンテスト形式の発表の場を提供

- プログラムを横断した成果発表の場（出口強化）としての位置づけ
- 優秀なチームに対して、外部スポンサーからの**起業資金や賞品を授与**

(早稲田生含む) 一般公募チーム ※書類選考あり

医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム

多摩美術大学×早稲田大学連携プログラム

コンソーシアム合同プログラム入賞チーム

WASEDA
Demo
Day

- ✓ 賞を獲得したチームの多くが、現在**起業または事業化準備中**
- ✓ 担当教員やスポンサーによる**定期的なメンタリング**を実施

各機関のビジネスコンテスト開催実績

- 早稲田大学『早稲田大学ビジネスプランコンテスト』, 『Hult Prize Waseda Organizing Committee』 他
- 滋賀医科大学『SUMSピッチコンテスト』(毎年40~50名程参加)
- 東京理科大学: Japan Tech-based Venture Competition (令和3年度,67社参加)
- 山形大学: 山形大学起業家育成講座Demo Day (年1回程) →右写真
「JT SDGs貢献プロジェクト」の趣旨/テーマに沿った優秀なチームに助成金を授与



プログラム受講により育ったアイデアが外部のビジネスコンテストで受賞

令和2年度コンソーシアム合同プログラムで入賞した**AGRINK (早大/山形大/理科大)**が『第18回キャンパスベンチャーグランプリ東京大会』にて優秀賞を受賞



【プログラム整備】受講終了後のコミュニケーション

■ コミュニケーションツールの活用事例

ツール名	用途
メーリングリスト	<p>プログラム/イベントの定期的な案内により、受講者の継続獲得に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の受講者にプログラム/イベントの案内を配信し、継続的な受講を促進した。 各機関が全学向けに情報発信し、裾野拡大と取組の浸透に努めた。
Slack	<p>プログラム中/終了後の教員-受講者と受講者同士のコミュニケーション活性化に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施中：チーム内ディスカッション、教員/講師が個別フォローをする場 終了後：受講者同士、教員/講師との継続的なコミュニケーションの場 <p>→WASEDA Demo Day前の時期はアイデアのブラッシュアップの議論も見られる</p>

■ 受講者による自主的な活動の一部紹介（継続的コミュニケーション）

・Beyond 2020 NEXT Project

WASEDA-EDGEプログラム受講者の有志が集い、起業イベントの企画・運営を行っている。

⇒**“受講者間のコミュニケーション活性”**、イベント参加者の起業マインドの醸成や人脈形成を促進した。

早稲田大学

・学生サークル「NEW(next entrepreneurs waseda)」

ベンチャー稲門会所属の受講者らが発起人となり立ち上げ、**優秀な起業家を多く輩出する活動**に取り組んでいる。

・イノベーション・プラットフォーム「PRISM」

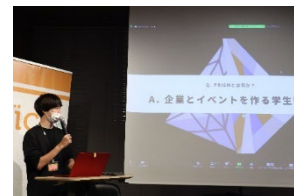
EDGE-NEXTプログラム受講生が設立し、多様な企業、団体と連携したイベントを実施している。

⇒イノベーションを起こす気概を持った学生が参集、学生のうちに視野を広げ、見識を深めることに貢献。

・学生サークル「Shepherd」

他大学も巻き込み新しいことへの挑戦に取り組むコミュニティとして結成。ビジコンやキャリアセミナー等実施。

東京理科大学



【ベンチャーエコシステム形成】 アントレプレナー育成システム高度化に向けた取組①

- 欧米等の海外機関との連携により、**世界トップレベルのプログラムを受講者に提供**
- 本コンソーシアムの知見・プログラム等の**教育手法をアジア圏中心に展開**
- 教員が海外大学のFDプログラムに参加し、そこで得た知見を本事業に反映

	取組名	主催機関	参加者数 ※最新の実施年度より
先進的手法の 導入	スタンフォード大学d.school講師によるデザイン思考ワークショップ	早稲田大学	39名
	Micro MBA online with UCSD	早稲田大学	115名
	スタートアップファクトリー(コロナ禍以降はオンラインで連携)	早稲田大学	28名(R1,現地開催時)
	カナダ・オタワ大学海外研修	滋賀医科大学	6名
	Innovation Team Lab.	東京理科大学	41名
	コロンビアビジネススクール連携	山形大学	78名
海外のFD プログラム参加	d.school FDプログラムへの参加	参加：早稲田大学 教員	
	バブソン大学FDプログラムへの参加	参加：早稲田大学、滋賀医科大学 教員	



MIT Sloanのマイケル・クスmano教授



海外研修の様子(オタワ大学)

「Price-Babson Symposium for Entrepreneurship Educators : Teaching Online」(2020年度)

- 日時：2021.1.11(月)～21(木) 9:00～11:00
- 参加者：40名以上(12国からの参加者) ■ アカデミックディレクター：Heidi Neck教授
- 内容：バブソンの代表的教育法である「Entrepreneurial Thought & Action®」の教授
ハイブリッド環境とオンライン環境での起業家教育への教育的アプローチを教授。

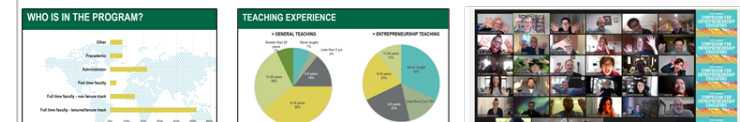


図1：プログラム参加者の属性

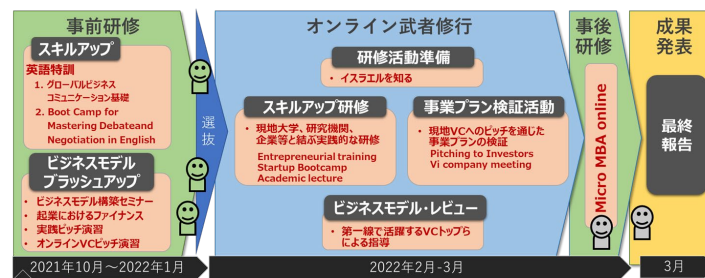
図2：参加者の教育経験

【ベンチャーエコシステム形成】 アントレプレナー育成システム高度化に向けた取組②

	取組名	主催機関	参加者数 ※最新の実施年度より
海外大学との 学生交流	アリゾナ大学学生との交流（H29年度）	早稲田大学	23名が来日
	バブソン大学との共同ワークショップ	早稲田大学	28名
	Idea Pitch in Phnom Penh （スタディ・ツアー-in Cambodia）	東京理科大学	12名 （現地学生:12名）
アジア圏の 教育手法展開	中国国家重点大学の学生対象のプログラム	早稲田大学	85名
	韓国外国語大学校の起業家教育プログラムへの波及	早稲田大学	—
	中山大学(台湾)管理学院（MBA） 社会人学生に向けたプログラム紹介	早稲田大学	約80名
世界的レベルの スタートアップ企業との交流	アントレプレナー育成海外武者修行プログラム	早稲田大学	6名

アントレプレナー育成海外武者修行プログラム

学生はイスラエル現地(コロナ後はバーチャル派遣)に行き学ぶ。



本プログラムを経て、
受講者の多くが起業。

<事例>
EAGLYS, Cellid
Vleap, Urth, レイワセガ他



アリゾナ大学経営学部の学生と
受講者との交流



中山大学管理学院社会人
学生に向けたプログラム紹介

【人材育成】ロールモデル創出（受講者紹介）

新田 理恵（TABEL株式会社代表、早稲田大学先進理工学研究科 修士2年）

- 受講：『**時間栄養学**』の**社会実装を目指してプログラムに参加**
⇒WASEDA-EDGEギャップファンドプロジェクト、令和3年度コンソーシアム合同プログラムほか
- 起業活動：3名のチームを結成。オンライン上でクロノタイプの診断ができるサイトを立ち上げ、**自分のクロノタイプにあったドリンクを購入できるビジネスモデル**の仮説検証を実施。
- 受賞歴：平成26年ロハスデザイン大賞 ソトコト賞、平成29年環境省グッドライフアワード 審査員賞等



小池 伶佳（早稲田大学法学部2年）

- 受講：令和3年度海外武者修行プログラム、起業家養成講座・イノベーション創出思考法等**10以上の正規科目**
- 起業活動：早稲田大学の**起業サークルNEW設立**や、**Beyond2020の運営メンバー**として活動している。
- 受賞歴：「Rocket Pitch Night Spring 2022(令和4年5月)」で分野別優勝⇒その後Cinderelax社を起業

木藤 寛敬（京都民医連中央病院 初期研修医、滋賀医科大学令和3年度卒業生）

- 受講：医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラムほか
⇒上記プログラム受講時に、「**入院患者向け情報サポートアプリ-ラピキュア-**」開発を提案
- 起業活動：ラピキュア開発のため、りびんぐラボ大正・医工福連携プロジェクト会議に参加、**滋賀医科大学附属病院内での実証試験に向けて取り組んでいる。**
- 受賞歴：第2回WASEDADemoDay ソレイジア・ファーマ賞・SUMS-EDGE賞、令和2年度SUMSピッチコンテスト 最優秀賞



【人材育成】ロールモデル創出（受講者紹介）

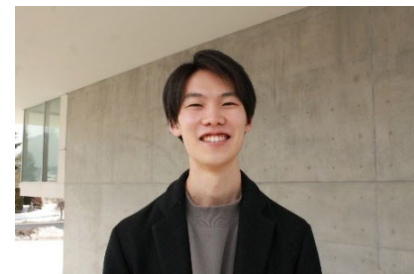
柴田 未央（東京理科大学薬学部薬学科 4年）

複数のプログラム受講を経て、ヤンセンファーマ『病のない未来』を実現するためのアイデアコンテスト』**優秀賞を受賞**、また経産省「始動Next Innovator 2020 シリコンバレー・プログラム」の選抜メンバーに選出された。令和3年4月に**精密検査**に基づき肌質一人ひとりに合った**スキンケア**等を提案する**株式会社ユーブROOMを設立**。現在は**プレシード期**として、株式会社トキワのオープンイノベーション「ビューティーアクセラレータープログラム」で特別サポートプログラムに採択され、事業推進中。



阿部 公一（卒業生、山形大学大学院有機材料システム研究科修士課程）

山形大学EDGE-NEXT「起業家育成教育(基礎編)・(実践編)」の受講等を経て、4名の受講者と**インキュベーションポートやまがた株式会社 (iPY)** を共同で設立。現在は代表取締役兼CEOを務める。**起業を志す学生を支援する会社**として、事業化の初期段階から一緒に検討し、本格事業化前にiPYの一部として事業を行う。社会に出向するための港の役割をもった企業を目指して活動中。



川上 梨子（多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 4年）

令和3年度多摩美連携×医療特化型事業創造プログラムを受講し、他大学の受講者と合同のチームで、**第4回WASEDA Demo Day**では**ソレイジア・ファーマ賞を受賞**。プログラム受講によるビジネス考案の経験や、多摩美術大学が民間企業と行う「産学共同研究プログラム」の経験等を活かし、**スモールビジネス立ち上げに向けて現在活動中**。



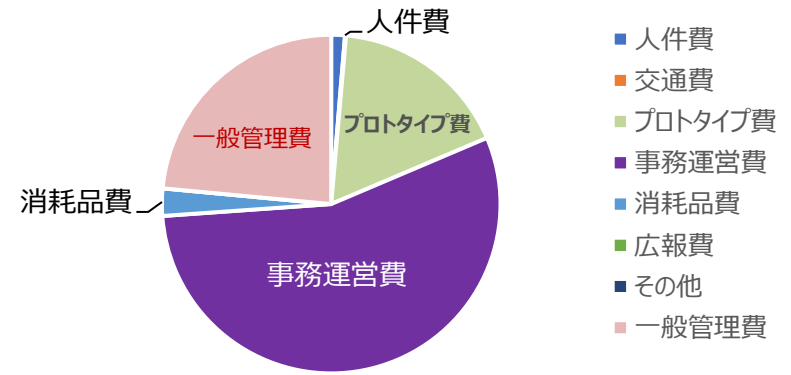
【4】計画・改善手法の妥当性 資金計画、PDCA

資金計画

■ 補助金の使途 ※令和3年度にもとづき作成

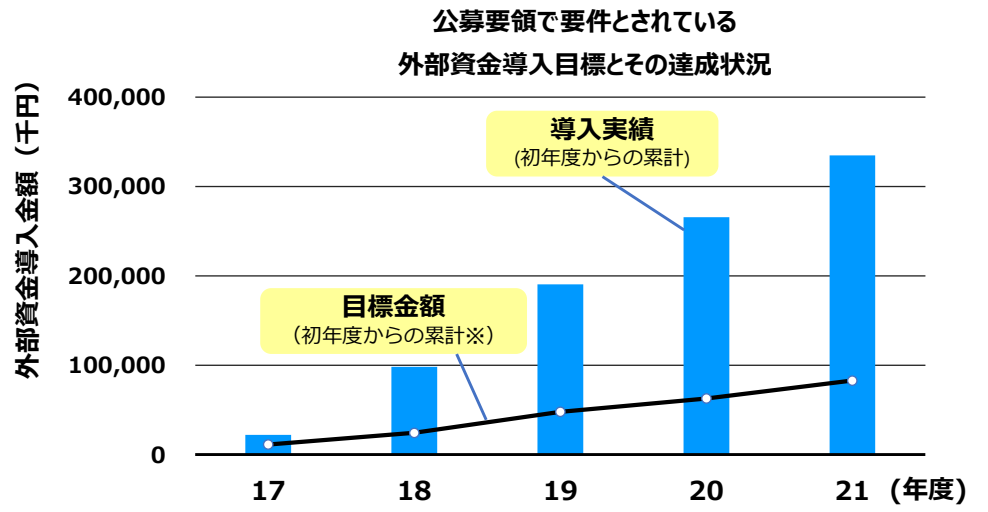
事務運営費で外注を効果的に活用し事務体制を強化

<活用状況>



■ 外部資金導入

公募要件を早期に達成、事業全体でも大幅に上回る導入実績

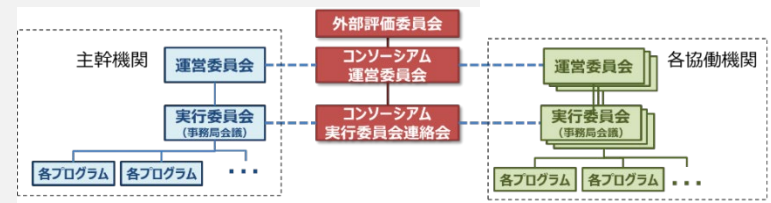


※但し2019年度以降は補助金額5,000万円として算出

PDCA

自己評価・外部評価に加え、独自評価手法の開発などを通じてPDCAを実現した

- コンソーシアム実行員会連絡会及び運営委員会での振り返りフィードバック
 - 外部有識者による外部評価委員会でのモニタリングと改善
 - 各プログラムでのアンケート実施と次期プログラムでの反映
- ⇒次年度のプログラム設計・運営への反映



コンソーシアムの運営とPDCA

【5】 今後の見通し

事業終了後の継続に向けた取組

本コンソーシアム連携継続に向けた取組

- 大学間の単位互換制度の継続
- **社会人有料プログラムの構築**、継続実施（前述EBIAヘルスケアプログラム）
- **別事業への接続による5大学の連携体制の維持**
 - JST-SCORE(T-UNITE)、JST-START(GTIE)の採択
 - 5大学の基本的なプログラム等運営資金の確保



各大学の卓越した取組

【学内での位置付け確立】

- **正規科目/学科の新設および継続**
 - 正規科目設置：早稲田大学BCC科目、滋賀医科大学『医療イノベーションの基礎』ほか
 - 学科の新設：東京理科大学「国際デザイン経営学科」（令和3年度）
- **組織再編による起業家教育・起業支援等のセンターの新設**
 - 早稲田大学：アントレプレナーシップセンターへの改称（令和3年1月）
 - 東京理科大学：ベンチャー創出エコシステム「TUSIDE」の構築
 - 山形大学：アントレプレナーシップ開発センターの設置（令和4年度）

【財源確保に向けた取組】

- **継続的な外部資金導入**
 - 各大学が民間企業等より寄付受入
 - 産学官共同研究による民間資金獲得（多摩美術大学）
- 実施プログラムの有料展開（山形大学）



産学連携インキュベーションオフィス
（東京理科大学）

本コンソーシアムの取組による波及効果①

イノベーションやアントレプレナーシップに関心がある層への波及として取組事例を挙げる。既に取り組んでいる機関に加え、今後実施したい/興味がある機関への波及も目指している。

<p>プログラム提供</p>	<p>山形大学の実施プログラムを東北芸術工科大学に提供、120名以上参加 →令和4年度は山梨県立大学にも提供</p>
<p>知見の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> 審査協力：KYOTO大学生グローバルベンチャーコンテスト 講義/審査：東北大学COIと早稲田大学COIサテライトの合同ワークショプ 講演：文部科学省主催「第4回アントレ事例共有セミナー」 講演とディスカッション：大阪大学共創機構の構成員向けクローズドイベント 講演：佐賀県唐津市「地域経済講演会」 講演：広島大学主催「エフェクチュエーションカンファレンス」



講演会チラシ (佐賀県唐津市)

高等学校への波及に向けた取組

<山形大学>

- 鶴岡工業高校と起業家育成に関する連携協定を締結(平成31年2月)
- 中高生対象「やまがたイノベーションプログラム」開催 (3か年で延べ48校・287名参加)

<早稲田大学>

- 附属校/系属校に対する『アントレプレナーシップ教育講座』の実施
⇒早稲田大学本庄高等学院 (令和4年/2/28)、早稲田実業学校 (令和4年/2/22)
- 受講者有志による高校生向けイベントの実施：
「感じてみようアントレプレナーシップ」@早大理工 (大学イベント「理工展」に合わせて毎年実施)

中高生向け「やまがたイノベーションプログラム2021」

中高生を対象に起業家マインドを醸成するワークショップを開催

2019年度	2020年度	2021年度
3泊4日キャンプ方式 18校 34チーム(84名)	Youtube視聴 4地区分散(現地+オンライン) 15校36チーム(95名)	Youtube視聴 完全オンライン 15校43チーム(108名)
現地課題調査	現地メンタリング	イントロダクション・事前講習 (Youtube視聴)
ビジネスアイデア抽出 メンタリング	オンラインメンタリング	ビジネスアイデア抽出 (参加15チーム選抜)
ビジネスプランコンテスト	ビジネスプランコンテスト	ワークショップ (1回目)
		ワークショップ (2回目)
		個別メンタリング
		ビジネスプランコンテスト (対戦形式)

感じてみよう
アントレプレナーシップ

高校生でもわかる起業セミナー
-AI・ブロックチェーン-
2020年11月7日(土) 9:30-16:30
実行委員 早稲田大学理工学部
定員 60名 500円

本コンソーシアムの取組による波及効果②

本事業の知見を体系化し書籍として発刊、本事業の成果を広く社会に波及させた。

『場のイノベーション』 第7章「アントレプレナーシップの場」 島岡 未来子(執筆担当)、
小林 直人(執筆担当、編集) 中央経済社、平成30年出版
「場のイノベーション(Field Innovation)」について、EDGE-NEXT（共創館）での活動を踏まえ、起業家精神の組織化の観点で論じている。

「ゼロからつくるビジネスモデル」井上 達彦（著） 東洋経済新報社、令和元年出版
アイデア創出から、ビジネスモデル構築、事業の循環までを多くの事例を紹介する一冊。
EDGEやEDGE-NEXTの取組についても触れている。



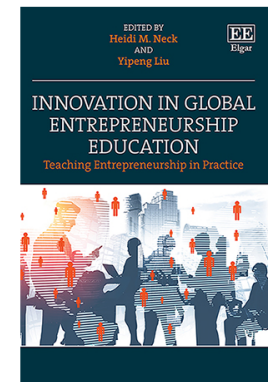
「経営戦略（ベーシック+（プラス））」井上 達彦他（著, 編集） 中央経済社、令和2年出版
経営戦略論の論理と手法を、主に大学の学部教育で行う授業の教科書になるよう執筆。
EDGE-NEXT（共創館プログラム）での取組成果も反映されている。



“*Innovation in Global Entrepreneurship Education*”に寄稿し
WASEDA-EDGEの取り組みを世界に発信した。

Entrepreneurship education at Waseda University, Japan（第1部4章）

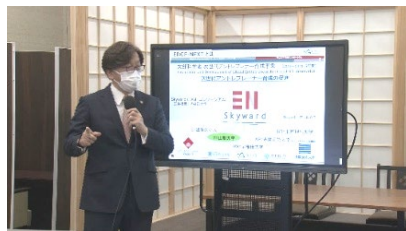
著者：Mikiko Shimaoka, Toru Asahi, Tatsuhiko Inoue, Tomomi Kito,
Takahiro Ohno and Shozo Takata (Waseda University, Japan)



本コンソーシアムの取組による波及効果③

本コンソーシアムの活動は各種媒体で取り上げられ**累計200件以上**に上る。以下は**代表的な報道実績**。

新聞	雑誌等
<ul style="list-style-type: none"> 読売新聞『明確な経営論 実践身近に』令和3年度（早稲田大学） 日刊工業新聞『VB・新事業創出で成果』令和3年度（Skyward EDGE コンソーシアム） 日本経済新聞『大学発起業(略)新設は200社前年度調査』令和3年度（東京理科大学） 読売新聞『ITエンジニア育成へ シリコンバレーから講師』令和3年度（山形大学） 山形新聞『ユニーク商品、学生たちが相次ぎ開発』令和3年度（山形大学） 	<ul style="list-style-type: none"> JUCE Journal『アントレプレナーシップ・起業家人材を育成する“WASEDA-EDGE人材育成プログラム”』（早稲田大学） 月刊先端教育『実践的を超えた実践による起業家教育』令和3年度（Skyward EDGE コンソーシアム） ドクターゼ『授業探訪：滋賀医科大学“医療イノベーションの基礎”』平成30年度（滋賀医科大学） 週刊東洋経済『すごいベンチャー100』令和2年度（東京理科大学） ⇒学生が在学時に起業したベンチャーが選出 タマビニュース『新ビジネス創出を目指す“起業家育成”の連携講座』平成29年度（多摩美術大学）
テレビ	Web等
<ul style="list-style-type: none"> 富山テレビ放送/北日本放送『県内企業で新規事業考案へ』平成30年度（早稲田大学）ほか富山新聞でも取組掲載 テレビ朝日「未来をここからプロジェクト」の一環として「大下容子 ワイド！スクランブル」で東京理科大学卒業生が起業した合同会社 Sociiiの活動が紹介された。令和3年度（東京理科大学） NHK『EDGE-NEXT 起業家育成プログラム第1回』令和2年度（山形大学）ほか山形放送でも多数紹介 	<ul style="list-style-type: none"> m3.com『【滋賀】起業家育成プログラムで医療分野の産学連携を推進-松浦昌宏教授に聞く◆Vol.1-2』令和2年度（滋賀医科大学） 日経ムック『【大学発ベンチャー】社会の問題解決とイノベーションを牽引する人材を育成』令和3年度（東京理科大学） Kawasaki-NEDO Innovation CenterのHPに東京理科大学学生・柴田未央氏が起業した(株)ユーブROOMが取り上げられる。（東京理科大学） 大学案内『社会に新たな価値を生み出す4つの教育テーマ “新ビジネスを生み出す発想力”』令和3年（多摩美術大学）



山形放送（山形大学）



JUCE Journal（早稲田大学）



ドクターゼ
（滋賀医科大学）



NIKKEI STYLE
（東京理科大学）



大学案内（多摩美術大学）



ご清聴ありがとうございました。

EN
Skyward